

いずも

つながる

ひろがる

ささえあう

vol. 155 | 11月・12月号 | 令和6年12月20日発行 |

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会



TOPIC! 《p2》特集 第3の居場所で見つけた 高校生のチカラ

《p4》出雲でつながる子育て支援の輪

《p6》お知らせ・募集

- ・たすけあい活動勉強会
- ・出雲市民余芸大会
- ・歳末たすけあい運動
- ・島根県各種功労者表彰

災害義援金・海外救援金

《p7》ご寄附ありがとうございます

《p8》子どもの遊び場整備助成

いずりんレポート

- ・出雲中央ライオンズクラブ様 車輛寄贈
- ・出雲法人会様 高齢者疑似体験セット寄贈
- ・(株)ダイナム様 災害ボランティア協定締結

知ってますか? 赤い羽根共同募金「しまねテーマ募金」

第3の居場所で見つけた 高校生のチカラ

「やってみてみたい！」に挑戦

「しまねJKP」は、女子高校生（JK）にしかできないやり方で、自分たちのやってみてみたいことやまちづくり挑戦するグループです。これまで、高校生の仲間と地域に飛び込み、食品ロスをテーマとした活動などを行ってきました。

大野さんが学校の枠から一歩踏み出し、地域で活動するようになったきっかけは、高校生の「やってみてみたい」を応援するプロジェクト『SHIMANE みらい共創CHALLENGE』（みらチャレ）※。「自分も好きなことをすればいいんだ」とスイッチが入ったそうです。現在、みらチャレの3期生として、食を通して多世代が交流する「学生食堂」に仲間と2人で奮闘中です。

しまねJKP
おおの
大野もも香さん

（出雲商業高等学校3年生）

すが、夏休みに子ども食堂のボランティアをして、自分たちがめざす未来への近道はこれだ！と急遽企画を変更しました。その子ども食堂を主催する（一社）みらい創造公社さんに関わってもらい、出雲市社協さんには地域とのつなぎを助けてもらって、わたしたちの想いに寄り添ってくれる大人の方に恵まれて、すすめることができます」と大野さん。

「もともと食のイベントをしたいという想いがありました。他の企画を考えていたんで奮闘中です。」

しかし、学生食堂にたどり着くまでには紆余曲折が。大野さんは、昔からおじいちゃんおばあちゃんが大好きで、作ってもらう家庭料理におなかも心も満たしてもらったそうです。そこに「高齢者の力を感じ、食フェスや料理レシピづくりなどの企画を考案。そして、地域の食のボランティアの方にアドバイスをもらうなかで、高齢者の孤食の課題を知り、「高校生としてできることは？」とシフトチェンジ。



アイデアを求めて参加した子ども食堂のボランティアで、地域がひとつになれる「食」の可能性に気付き、学生食堂の企画へ。「やりたいことが頭の中にあふれていて、現実味がないものもたくさんあり



ました。関わっていた大人のみなさんも頭を抱えたと思います。(笑)でも、なんとかなる!という高校生らしいゆとりと純粋なやる気やなんとかここまで来れました。開催が待ち遠しいです!」と、目を輝かせます。

高校生は魔法の時間

高校生として過ごす時間について「家と学校を行き来するだけの毎日に考えるところがありました。高校生って、魔法の時間だと思うんです。今のわたしたちの時期は色々なことを考えて、おもしろいアイデアが生まれる時期だと感じます。大人になると現実性を持ちすぎるし、中学生だと現実離れしてしまうけれど、高校生はそのいいところ取りというか、みんな考えを生む力を持つてるけど、それを提案したり実際にやってみたりする機会はなかなかないし、家と学校の行き来だけだと自分の力に気付けなと思います。わたしは、こうして第3の居場所があることで自分の力に気付けました」と話します。また、しまねJKPでの活動を通して自分自身に

変化があった大野さん。「行動に移すか移さないかで自分も未来も変わると思います。自分自身もやってみたいことに挑戦して、わたし変わったな」と実感しています。まずは、失敗してもいいや」というマインドになったこと。失敗した経験も今なら、こんなこともある、色んな人がいる」と広い視野で考えられるようになりました。あと、正直、大人や学校が苦手だったけど、それがなくなりました。もともと学校が合わないなと感じていて、でも、世の中のには学校に行くことが正しい風潮で、行きづらいう子が苦しい環境になってると思います。こうして自分の3つ目の居場所ができて、離れてみて気付く良さがあるんだなって。なにかひっかかることがあっても、別の逃げ道があることで納得できる自分になりました」と自分の世界が広がることに喜びを感じたそうです。

みんなに伝えたい高校生のチカラ

これまでになくさんの活動者の方と出会い、自分らしさ全開で地域へ飛び込む姿に刺激を受けた大野さん。「今のわたしの自分らしさって、女子高生であること。ひとりよりも、みんな」で、それから楽しくってというのが女子高生らしいなって



思うので、こうしてグループで活動しています。学校以外の世界で、たくさんの人と出会いながら、やりたいことを叶えていくことに毎日わくわくしています!」と話します。

「自分らしさや、まだ気付いていない自分の力を狭い世界にとどめておくのは本当にもったいない。家でも学校でもない自分の居場所って、自分が一歩踏み出せば実はたくさんあります。そこに一人ひとりの力を見つけてチャンスがあるんだよって活動を通して伝えていきたいです!」とあふれるパワーで想いを語ります。

高校生であること自体に力があると気付き、その可能性を信じて地域に飛び込む大野さん。第3の居場所での自分の本来の力を発揮し、JKPのアイデアが出雲を笑顔にする、これからの活躍も楽しみます!

※SHIMANEみらい共創CHALLENGE

TSKグループ基金さんいん未来縁人と地域・教育魅力化プラットフォームが主催。一人ひとりの、やってみたくて、半年間かけて実現していくプロジェクト。参加者には、活動支援金が支給され、第一線で活躍する経営者・社会人・大学生からアドバイスをもらいながら進める。

しまねJKP
Instagramは
こちら



子育て支援の輪

子育てに奮闘するママやパパのため、
にたくさんの取組がすすめられています。
の地域福祉活動を応援したい！」との
金、赤い羽根共同募金を活用し、
います。その一部をご紹介します！



子どもの居場所

平田地区 夢みるHIRATA

さまざまな理由で学校に行きづらいお子さん
やその保護者が、平日の昼間に安心して過ご
せる場所として活動されています。

代表の方も当事者であり、保護者同士でいろ
いろな話をしたり、時にはイベントを通してみんな

で交流を図ったりと、
楽しく過ごせる場をめざしておられます。
市内にある不登校親の会や、フリースク
ールなどと連携した取組も
行っておられます。一度
のぞいてみてください。



夢みるHIRATA
Instagram



よくあるお問合せ

Q. 市内の子ども食堂のことを知りたいのですが...

A. 出雲市社協では出雲市内の子ども食堂についてお知らせするWEBサイトを開設しています。市内の子ども食堂マップや開催日カレンダーなども随時更新しています。ぜひご覧ください！



Q. 子ども食堂を運営する方と話したいのですが...

A. 出雲市社協では「いずも子ども食堂ネットワーク」を設け、日常的に活動団体同士の情報交換などを行っています。また、定期的に交流会を開催し、活動者同士や応援したい方がつながる場となっています。



問合せ先 地域福祉課 ☎23-3781



出雲でつながる



子育てサロン

古志地区 りんごちゃん教室

古志地区社会福祉協議会が主催する子育てサロンです。保護者同士の交流会や子育て相談などを行い、地域ぐるみで子育てができる環境と体制づくりをめざしておられます。

みんなでクッキングをしたり、絵本の読み聞かせをしたりと親子でゆっくりと穏やかな時間を過ごせる場となっています。



市内では子どもたちの笑顔のため、子どもたちと地域がもっとつながるため出雲市社協では、みなさんから「出雲お気持ちでいただいた会費や寄附よりよい取組になるようサポートして

子ども食堂

出東地区 出東虹教室

子どもたちが学習・遊びそして食事ができる場として平日の放課後に開かれています。夏休みなどの長期休暇には、子どもたちと地域の大人と一緒に昼食づくりをするなど楽しい時間を過ごしています。

友達と自由にのびのびと過ごせる、子どもたちの大切な居場所となっています。今日も出東虹教室は子どもたちの笑顔がいっぱいです！

出雲市社協は地域の思いをカタチにする応援団です！

出雲で地域活動をしたい！

「こんなことを始めたいな」「地域の人に知ってもらには？」「活動経費のサポートがあれば…」などの思いをうかがい、一緒に考え、よりよい活動が広がるようにお手伝いします。



出雲の地域活動に協力したい

「ボランティアをしたい」「子ども食堂に食材をおくりたい」といった思いを、ニーズのある活動団体につなぎます。

あかつきファーム今在家様からの▶
野菜寄贈



たすけあい活動勉強会

困ったときはお互いさま。ちょっとした生活の困りごとを手助けする、たすけあい活動を始めるにあたっての基礎を学びます。

- **日時**：令和7年2月18日(火)
13:30～16:00
- **場所**：出雲市社会福祉センター 42号室
- **参加費**：無料
- **定員**：30名(先着順)
- **内容**：たすけあい活動についてのお話、団体紹介など。ホームページに掲載していますのでご確認ください。
- **申込方法**：2月10日(月)までに ①氏名 ②電話番号 ③希望理由 をご連絡ください。

問合せ・申込先

地域福祉課 ☎23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込みの際は、件名を「ボランティア講座」としてください。

歳末たすけあい運動

歳末たすけあい運動は、赤い羽根共同募金運動のひとつとして毎年12月に実施されています。皆さまから寄せられた募金は、出雲市内の高齢者や障がい者、子どもたちなど支援を必要とする方があたたかいお正月を迎えられるように、家屋の小修繕やあったか訪問、食料支援等の事業に活用されています。

出雲市民余芸大会

- **日時**：令和7年1月19日(日)
開場11:30 開演12:30
- **会場**：出雲市民会館大ホール
- **入場料**：〈前売券〉1,500円 〈当日券〉1,700円(全席自由)
- **販売窓口**：出雲市社会福祉協議会本所・各支所、山陰中央新報社出雲総局、出雲市役所福祉推進課・各行政センター福祉担当課
(〈収益の一部は赤い羽根共同募金に寄附されます。〉)

問合せ先 総務課企画係 ☎23-3781

島根県各種功労者表彰

永年にわたり地域を支えるボランティア活動に努め、社会福祉の向上に寄与された次の団体が受賞されました。

夢つむぎ語りたい

平成15年に設立。小学校などでの本の読み聞かせ活動を通じ、地域の子どもたちが本に親しむ心を育まれました。また、紙芝居や影絵を披露し、地域住民を楽しませながら文化伝承の担い手として取り組まれた功績が認められました。

こりょうブックフレンド

平成14年に設立。小学校などでの本の読み聞かせ活動を通じ、地域の子どもたちが本に親しむ心を育まれました。また、大型絵本やパネルシアターを披露し、地域住民の心を豊かにする取組の功績が認められました。

災害義援金・海外救援金のお知らせ

名称	送金額(11月30日現在)	受付期間
令和6年能登半島地震災害義援金 ※現在の配分先：石川県、富山県、新潟県、福井県	これまでの送金額 6,113,632円	令和6年12月27日まで (石川県は令和7年12月26日まで延長)
令和6年7月25日からの大雨災害義援金 ※現在の配分先：秋田県、山形県	これまでの送金額 2,565円	令和6年12月27日まで
令和6年9月能登半島大雨災害義援金 ※現在の配分先：石川県	これまでの送金額 524,309円	令和7年3月31日まで
バンングラデシュ南部避難民救援金	これまでの送金額 11,000円	令和7年3月31日まで
ウクライナ人道危機救援金	これまでの送金額 2,530,043円	令和7年3月31日まで
アフガニスタン人道危機救援金	これまでの送金額 10,000円	令和7年3月31日まで
イスラエル・ガザ人道危機救援金	これまでの送金額 19,382円	令和7年3月31日まで

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区(事務局 出雲市社会福祉協議会本所・各支所)



ご寄附 ありがとうございます

令和6年9月11日～令和6年11月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄付

<団体>

極真会館佐藤道場島根支部出雲道場

<斐川>

出 西 黒田 良治

香典・玉串料・お花料返し

() 内は故人

<出雲>

笠岡町 新井 藤水(丁子)
大津町 長光 通雅(八重子)
大津町 神谷 健(初子)
上塩治町 平尾 隆司(壽榮美)
上塩治町 黒田 健彦(康彦)
塩治町 山岡 尚(和田 美三代)
塩治有原町 後藤 節郎(節子)
白枝町 永瀬 誠次(義光)
白枝町 馬庭 勤(祥吉)
浜 町 神田 治夫(淑子)
矢野町 濱村 一正(円三)
小山町 佐伯 深幸(フサエ)
平野町 山根 恭子(昭男)
武志町 三島 羊子(真一)
高岡町 杉原 茂(富美子)
馬木北町 石野 堅太郎(周二)
下古志町 原 寿夫(幸子)
神西沖町 大峠 達也(春樹)
西園町 柿木 章(崇)
西園町 石飛 正人(郁子)

<平田>

平田町 山根 秀(君子)
平田町 久家 明子(静子)
平田町 永田 行男(平野 秋子)
平田町 原 史明(一博)
平田町 新宮 優(英雄)
平田町 大谷 昌平(英明)
平田町 土江 昭代(和文)
平田町 原 俊二(君代)
西平田町 玉木 隆夫(喜美子)
灘分町 高見 實(ヌイ)
灘分町 西尾 洋治(利江)
灘分町 土江 晃徳(松枝)
河下町 長廻 隆子(英司)
唐川町 荒木 清実(武子)
東福町 新田 範子(村田 千恵子)
東福町 河原 聖(清子)
東福町 河原 信行(ハルエ)
上岡田町 長岡 善幸(文江)
多久町 清水 良洋(秋雄)
鹿園寺町 吾郷 篤巳(タツ子)
鹿園寺町 角 正樹(愛子)
小津町 川瀬 富江(金蔵)
三津町 佐藤 靖国(映美)
三津町 來海 徳義(とよ子)
小伊津町 釜屋 静江(正雄)
野郷町 田中 みどり(誠)

<佐田>
須 佐 田部 純子(昭江)
毛 津 田中 守(秀雄)

<多伎>
口田儀 森山 泰江(崇)

小 田 石飛 正明(繁俊)
小 田 俵 道雄(さゆり)
久 村 伊藤 俊英(裕)
久 村 安部 成次(柳楽 和子)

<湖陵>

二 部 本田 孝行(糸子)
三 部 本田 正巳(辰子)
大 池 三原 誠(慶子)
差 海 桑原 淳一(忠助)
差 海 原 佑也(勝実)

<大社>

遙 堪 吉廻 秀久(経久)
遙 堪 松井 毅(ミナ子)
入 南 古川 和子(精三)
中荒木 中山 弘行(紀伊子)
北荒木 中嶋 正仁(よし子)
修理免 黒崎 昭(米子)
杵築南 児島 範行(幸恵)
杵築南 岡田 賢次郎(榮子)
杵築南 大谷 健(宏)
杵築南 高橋 栄(清子)

<斐川>

荘 原 渡部 誠治(重夫)
神 庭 岡 實(延子)
三 絡 建部 伸夫(峰雄)
上庄原 高橋 良行(良一)
上庄原 原 洋次(道江)
出 西 江角 徹也(幸男)
名 島 狩野 正夫(スズ子)
上直江 安藤 学(智香)
上直江 藤野 かおり(智之)

直 江 加藤 千朝(久人)
美 南 藤江 和也(明男)
美 南 玉木 誠(良治)
沖 洲 尾原 健志(幹夫)
三分市 瀬崎 君枝(兼次)
坂 田 内田 幸男(繁伸)

匿名

16件

ご寄贈

<団体>

出雲中央ライオンズクラブ
公益社団法人 出雲法人会
会長 高橋 英一

<斐川>

直 江 宇都宮 準

お詫び

10月18日発行号の寄附者にて誤りがありましたので以下のとおり訂正いたします。

誤:小境町 堀内 シズコ(常善)
正:小境町 堀内 常善(シズコ)

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び
各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円-2,000円)×40%=19,200円
〔2〕住民税 (50,000円-2,000円)×10%=4,800円
〔1〕+〔2〕=24,000円……税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。





子どもの遊び場整備助成

子どもが安心して遊べる環境づくりのため、遊具(健康遊具を含む)などの新設や補修にかかる費用の一部を地区社会福祉協議会へ助成します。(皆様からご協力いただいた会費、寄附金、赤い羽根共同募金を活用しています。)

助成金額

遊び場の新設または補修
1地区上限16万円
(8割助成)

下記のいずれかに該当する場合は助成対象としません。

- 行政機関、営利を目的とする団体、個人が設置あるいは管理する遊園地(町内などで管理している遊園地が対象です)
- 固定式でない遊具または設備
- 同一の助成申請内容で複数年にわたるもの

申し込み方法 令和7年1月10日(金)までに、お住まいの地域の地区社会福祉協議会にご連絡ください。



出雲中央ライオンズクラブ 様 車輦寄贈

認証60周年記念事業として車輦をご寄贈いただきました。子ども食堂やふれあいサロン等の地域福祉活動の支援や福祉教育、フードドライブ等に活用していきます。



出雲法人会 様 高齢者疑似体験セット寄贈

小中学校などでの福祉教育で使用する疑似体験教材をご寄贈いただきました。子どもたちが加齢に伴う心身の変化を知り、自分たちにできることを考える福祉の学びに活用していきます。



(株)ダイナム 様 災害ボランティア協定締結

大規模災害により災害ボランティアセンターが設置された際に、ダイナム様所有の駐車場を活用させていただき協定を結びました。今後も万が一に備えて両者で連携してまいります。

レ
ポ
ー
ト



？
知
っ
て
ま
す
か

赤い羽根共同募金
「しまねテーマ募金」



テーマ募金って？

特定の地域課題の解決に取り組む団体などが、自らの活動を伝え、寄附を募る取組です。寄附する側は、応援したい団体に直接支援を届けることができます。

「地域から孤立をなくす」や「子どもたちの居場所づくり」などの分野で、それぞれの活動をテーマとした募金活動が全国各地で展開されます。

わたしたちの活動でテーマ募金をするには？

テーマ募金に参加を希望する団体は参加申請が必要です。詳しくは出雲市共同募金委員会までご相談ください。(☎23-3781)

出雲市でテーマ募金を行う団体はあるの？

出雲市では、今年度次の団体がテーマ募金を行います。

団体：NPO法人しまね子ども支援プロジェクト
事業：ひとり親家庭の子どもへの食糧支援事業
内容：ひとり親家庭を支援する常設フードバンク「コミュニティフリッジ出雲」は、食料品・日用品の支援を必要とされる親子が、時間や人目を気にせず、24時間都合の良い時に提供される食料品・日用品を取りに行ける仕組みです。利用世帯の拡大を図るとともに、安定的に食料品等の提供を行えるよう、「皆が子どもたちの実態を知り、支える社会」の実現をめざしています。皆さまのご支援、ご協力をよろしく願います。

募金期間：令和7年1月1日～3月31日

年末年始の休業のお知らせ 12月29日(日)～1月3日(金)まで休業します。



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30～17:15

☎23-3781(代表) FAX20-7733(代表)

✉ fukushi@izumoshakyo.jp

ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

総務課・地域福祉課 / ☎23-3781 FAX20-7733

生活支援課 / ☎23-3790 FAX20-7733

いずも権利擁護センター / ☎25-0955 FAX20-7733

平田支所 / ☎63-4624 FAX63-5011

佐田支所 / ☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所 / ☎86-2331 FAX86-2351

湖陵支所 / ☎43-2310 FAX43-2226

大社支所 / ☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所 / ☎73-9330 FAX72-4068



高齢者あんしん支援センター

出雲 / ☎25-0707 FAX25-0901

平田 / ☎63-8200 FAX63-5011

佐田 / ☎84-0019 FAX84-9034

多伎 / ☎86-7122 FAX86-2351

湖陵 / ☎43-7611 FAX43-2226

大社 / ☎53-3232 FAX53-6053

斐川 / ☎73-9125 FAX72-4068

